

お薬についてのお願い

◆お薬手帳持参のお願い

お薬手帳にて現時点の内服状況を確認することは、今後の治療方針を決める上で大変重要な情報となります。外来受診時はお薬手帳（お薬説明書等の情報源も含む）を必ず持参するようお願い申し上げます。入院される場合は現在服用しているお薬とお薬手帳（お薬説明書等の情報源も含む）を忘れずに持参するようお願い申し上げます。

◆低用量ピル（経口避妊薬、月経困難症治療薬等）をお飲みになっている患者さんへ

低用量ピルを服用したまま手術を行った場合、術後の安静度によっては血栓症（血管内に血の塊が出来てしまう病気）となってしまう危険性があります。

血栓症は脳梗塞や心筋梗塞、肺塞栓症等の生命を脅かす重篤な疾患に結びつく可能性が高いため、低用量ピルの服用を続けたまま手術を行うことは危険を伴います。（ただし、低用量ピルを疾患の治療に用いている場合は、専門医の指導の下で低用量ピルの服用を継続したまま手術を行う場合もあります）

低用量ピルを服用中の患者さんは、必ず問診票に「低用量ピルを内服している旨」を記載するようお願い申し上げます。

【参考文献】低用量経口避妊薬の使用に関するガイドライン（日本産婦人科学会）

◆手術・検査前に服用中止が必要となるお薬について

お薬の種類によっては手術や検査の前に服用を中止しなければならないものがあります。

以下に一例を挙げます。

●血液を固まりにくくする薬剤

（抗血栓薬、冠血管拡張薬、末梢循環改善薬、脳循環改善薬等）

●低用量ピル（経口避妊薬、月経困難症治療薬等）

●ビグアナイド系糖尿病治療薬

【参考文献】

●抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン（日本消化器内視鏡学会）

●低用量経口避妊薬の使用に関するガイドライン（日本産婦人科学会）

●ヨード造影剤（尿路・血管用）とビグアナイド系糖尿病薬との併用注意について

（日本医学放射線学会・日本放射線専門医会 / 医会 合同造影安全性委員会）